

なつめ そうせき  
あの夏目漱石先生もみとめた！

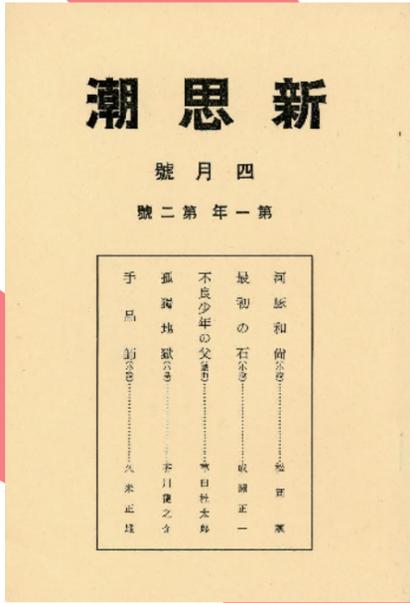
あくたがわ りゅうのすけ くめ まさお  
芥川龍之介、久米正雄、

なるせ せいいち まつおか ゆずる きくち かん  
成瀬正一、松岡譲、そして菊池寛！

# 大作家のタマゴ!?



第 2 号



しんしちょう  
これが第 4 次『新思潮』。  
なつめそうせき  
夏目漱石先生を第一の読者  
とて、作られた雑誌だ。



しんしちょう  
第 4 次『新思潮』  
のメンバー、  
きくちかん  
菊池寛君（左）  
とくめ まさお  
久米正雄君  
（右）。

## しんしちょう ちゅうもく 第 4 次『新思潮』の 5 人に注目だ！

『新思潮』は、東京帝国大学（今の東京大学）に通う学生たちが中心となつて、第 1 次、第 2 次、第 3 次、第 4 次と受けつぎ作られ続けてきた雑誌だ。その中でも、第 4 次『新思潮』のメンバーへの注目度はピカイチ。メンバーは、かつて第 3 次『新思潮』に参加していた、芥川龍之介、久米正雄、成瀬正一、松岡譲、菊池寛の 5 人。第 3 次『新思潮』終了後、尊敬する作家・夏目漱石先生に自分達の作品を見てもらうための雑誌を作りたいと思い、第 4 次『新思潮』を創刊した。漱石先生からの評価は高く、芥川君の「鼻」は特にほめられたという。



メンバーは、第一高等学校に通い、東京帝国大学に進んだが、菊池寛君だけは、友人の罪をかぶつて第一高等学校をやめさせられ、京都帝国大学（今の京都大学）に進学した。ひとりさびしく京都で過ごしていた寛君は、東京の友人から『新思潮』に誘ってもらえて、大変うれしかったそうだ。しかし、ほめられるのは芥川君や久米君の作品で、自分はなかなか認められないことに、たいそうくやししい思いをしているらしい。めげずにがんばれ、きくち かん君！

「きくちかん新聞」は 2 ヶ月ごとに発行し、菊池寛の一生をお伝えします。Web でも見ることができます。

